



Carrying the Gallery Moon into the future

むろん

ギャラリー夢雲を残したい!



美しい自然に囲まれた
奈良・室生で灯をともし続ける
ギャラリー夢雲(むろん)
築330年の古民家を修繕し
守っていくための挑戦



支援の目的

屋根・床を中心とした
損傷の激しい
場所の緊急修繕

来場者・作家
スタッフの
安全確保

2026年下半期の
展示会の
安全な実施

恒久的な運営
のための展示室
の修繕

築330年の建物は近年、台風や豪雨の影響で、屋根を中心に深刻な損傷が確認されています。1日も早く修繕を行い、建物・ご来場者の安全と稀有な交流の場を守り未来へと繋いでゆくため、みなさまのご支援をどうぞお願いいたします。

支援期間

ギャラリー夢雲を残したい! 支援プロジェクト

2026 4.11 sat - 6.12 fri

支援目標額

1,000 万円

支援方法

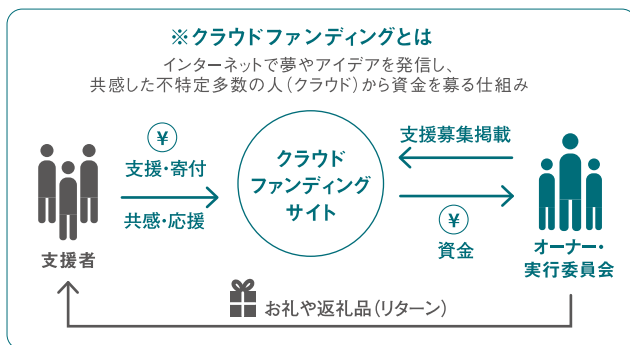
A. クラウドファンディングでのご支援

<https://gallerymoon.jp/shien/>

B. お振り込みでのご支援

裏面の詳細をご覧ください
ご支援の目安: 1口 ¥5,000-
(お気持ちに応じて何口でも可)

支援特設サイトは
こちらから



ギャラリー夢雲を残したい！築330年の古民家 修繕のためのご支援をお願いいたします

築330年のギャラリー夢雲(むろん)を残したい。奈良・室生で27年間、手仕事とアートの灯をともし続けてきたこの場所が、今、存続の岐路に立っています。このクラウドファンディングは、単なる建物の修繕のためだけでなく、「人と手仕事と自然とがつながる、かけがえない場」を守るための挑戦です。どうか、このギャラリーを未来につなぐために。

皆さまのお力をお貸しいただけませんか。

ギャラリー夢雲を残したい！実行委員会一同

27年前、奈良・室生で、荒れ果て草木に埋もれていた家が多くの方の協力を得て、ギャラリー夢雲が誕生しました。作家に出会っていくうち、作品に生き方や魂が現れていることに気づき、作家の生き様に出会うことは幸せなことだと思いました。自然や水、小鳥や動物たち、そして田舎の暮らしから感じることもとても彩りになって、出会えたことに感謝しています。

ギャラリー夢雲オーナー/山脇優喜美

支援期間

ギャラリー夢雲を残したい！支援プロジェクト

2026 4.11 sat — 6.12 fri

クラウドファンディングは4月11日開始ですが、銀行振込でのご支援は随時受付中です。

支援の方法

A.クラウドファンディングでのご支援

<https://gallerymoon.jp/shien/> からクラウドファンディングページへ



支援特設サイトは
こちらから

上記URLからQRコードを読み込み、支援特設サイトにあるクラウドファンディングのリンクからクラウドファンディング(CAMPFIRE)のページへ。『プロジェクトを支援する』からコースをお選びください。コースによっては、ギャラリー夢雲ならではの「夢ある暮らしへの一歩」となるようなリターンを多数ご用意しております。どうか、みなさまのご協力とご支援のほどよろしくお願いいたします。

B.お振込でのご支援

ご支援の目安:1口 ¥5,000— (お気持ちに応じて何口でも可)

ゆうちょ銀行

店番 458 四五八

貯蓄 2821666

受取人名 ヤマワキ ユキミ

お振込の際、差し支えなければ今後のお礼やご案内などのため、通信欄か下記メールアドレスに[お名前/ご住所/ご連絡先]をご教示いただけますと幸いです。(ご記入は任意)

WEB/SNS



WEB



Instagram



Facebook

ぜひ、フォローや
いいね!で拡散・応援を
よろしくお願いいたします。

- 主催: ギャラリー夢雲を残したい!実行委員会
- お問い合わせメール: contact@gallerymoon.jp

Carrying the Gallery Moon
into the future

むろん ギャラリー夢雲 を残したい!



夢雲ファン・作家のみなさま
からの応援メッセージ

美しい自然に包まれ、集う人みんなが楽しみ、喜び、笑顔が弾ける。出会いがあり、共感があり、発見があり、学び合い、それぞれの希望が生まれる。まさに夢雲はそんな場所です。この稀有なギャラリーの存続を切に願っています。皆様、どうぞよろしく願います。
[木版画家・作陶家 江崎 満]

来訪者・作家・ギャラリー、それぞれが影響あって幸福な時間を紡ぎだすこと、夢雲はそんなインタープレイを可能にする稀有な場所だと思います。そしてそれを支える空間と自然。こんな素敵な場所が、ずっとここにあり続けてほしい。心からそう思います。
[造形作家 河野 甲]

築330年の古民家「ギャラリー夢雲」は、作家とお客様そしてこの場所のエネルギーが一つになり、素敵な物語が始まる舞台です。オーナー山脇さんの「ここはみんなのもの」という深い愛に包まれ、私も10年以上ここで多くの感動的な出会いを目撃してきました。誰もが自分を解放できるこの稀有な場所を、未来へ繋ぐためのお力添えを、心よりお願い申し上げます。
[版画家・画家 森 ひろこ]

ギャラリー夢雲で出会う作品展は、毎度が特別な体験です。古民家の静かな佇まいと調和するように展示された作家さんたちの作品にふれるたびに、心が静かにほだけていく感覚を覚えました。このかけがえない場が、続いていくことを心から願っています。
[夢雲ファン 佐々木 設子]

建物の現状(2026年1月)



緊急性の高い屋根根部と、和室床下構造 断続的な雨漏りもあり厳しい状況

雨漏り中のキッチン～倉庫西部分は室内の床が抜けている箇所あり。キッチン展示期間中にケータリング準備等でスタッフの往来が多く、安全面が懸念され、事務所部分も断続的な雨漏りがひどい。さらに、展示期間中多くのお客様と重量のある作品が搬入される和室床下も、地震等の少しのきっかけで崩壊の可能性あり。

2026年ゴールデンウィーク、待望の夢雲コレクション展を開催!

ギャラリー夢雲を残したい!プロジェクト
夢雲コレクション展
2026.5.2 SAT — 5.6 WED

11:00-18:00 at Gallery Moon Murou mukoji 415 Uda Nara JAPAN

同時開催中!
クラウドファン

